

令和元年7月12日

安平町長 及川 秀一郎 様

安平町町民自治推進委員会
委員長 竹内 亨

提 言 書

第2期の町民自治推進委員会では、まちづくり基本条例及び町民参画推進条例が誠実に運用され、多様な主体の協働によるまちづくりや町政運営への参画をはじめとした「町民自らが考え行動する町民自治の実現」が図られるよう、第1期委員の後を受けて、まちづくり基本条例の「第4章 協働と連携協力」を中心とした調査審議を行って参りました。

つきましては、下記のとおりこれまでの2年間の調査審議の成果をまとめましたので、今後のまちづくり基本条例関連施策の推進等に当たって、下記の内容が反映されるよう提言申し上げます。

記

1. 自治会・町内会の再生及び活性化について

まちづくり基本条例「第4章 協働と連携協力」について調査審議するなかで、委員からは、「役員の担い手や行事への参加が不足している」「若年層と年配層との間に距離感がある」といった声があるなど、自治会・町内会にはテコ入れが必要な問題が顕在していました。そのようななか、北海道胆振東部地震が発生し、災害対応時に機能を発揮した自治会・町内会があった一方、仮設住宅への移転や町外への転出などにより、長く支えあってきた隣近所の地縁関係が震災を境に忽然と崩れ、高齢化や戸数の少ないところでは、1戸2戸の転出がコミュニティの維持に重く押し掛かっている状況に陥っており、自治会・町内会をとりまく問題が深刻化した実感があります。

こうしたことから、自治会・町内会の再生及び活性化は喫緊の課題であると言え、自治会・町内会と行政がともにこの問題を直視し、ともに課題解決に取り組んでいく必要があると考えます。その対策の一例として、「自治会・町内会の仕事の見える化（紙・電子媒体両面による広報活動の強化、役員業務のマニュアル化等）」を推進したり、大きくは、その地区が目指す将来像や方針を、その地区の住民が主体となって明文化する「地区計画（地域再生計画）」を策定したりなど、次の世代に対して地縁組織が目指す方向性や必要性、具体的な仕事を継承していくために、地域の実情に合った「見える化」を図ることによって、思いが広く共有されることに繋がり、解決の糸口が見えてくるのではないかと考えます。なお、そうした取組みを推進していくに当たり、地域の見守りなど大切な支え合

い活動でありながら目立ちにくい活動を続けている人々など、地域づくりを我が事として率先して行動している人々にも光を当て、声を反映することを念頭に「見える化」の推進を図ることが必要だと思います。また、行政においては、改革に立ち上がる自治会・町内会の発掘に努めていただくほか、そうした取組みに活用できるまちづくり事業支援交付金などの財源支援策を継続的に講じていただきたいと思います。

2. 町民自治推進委員会条例の見直しについて

これまでまちづくり基本条例の運用状況や町民参画の実施状況等を調査審議するなかで、まちづくり基本条例の形骸化は見受けられず、見直す必要はないと考えますが、まちづくり基本条例の関連条例である町民自治推進委員会条例については、広範に町民を巻き込んで進める趣旨は理解するものの、会議における調査審議の継続性や深まり、発言の容易さ等を考慮すると、現行（20人以内）よりもコンパクトな委員定数とした方がメリットを生かせるのではないかと考えます。

広範に町民を巻き込む趣旨については、安平町町民自治推進委員会の委員の選定方法等に関する要綱に基づき、普段意見を述べる機会の少ない多数派の町民（サイレント・マジョリティ）に配慮した選定を継続することで、趣旨を損ねずバランスよく委員を選定することが可能だと考えます。下表は、安平町町民自治推進委員会と同様に一般町民の委員を含む常設の委員会で、委員定数が規定されている道内市町の状況でありますので、参考にさせていただきたいと思えます。

参考市町の組織名称	委員定数	任期
下川町自治基本条例検討町民会議	8人以内	2年
新ひだか町自治基本条例評価委員会	10人以内	3年
美幌町自治推進委員会	10人以内	2年
清水町まちづくり基本条例審査会	10人以内	2年
置戸町まちづくり基本条例委員会	10人以内	2年
余市町自治推進委員会	10人以内	4年
北見市市民自治推進会議	15人以内	2年
安平町町民自治推進委員会	20人以内	2年

3. 審議経過の積極的な公開について

第1期委員において、町民と町との情報共有を推進するため、安平町ホームページ上に審議会等の会議録を公開するページを設け、審議の経過や結果を積極的に公開するよう提言がされています。震災等の影響による業務の増大など職員には大きな負担がかかり、事務の優先順位等を調整せざるを得ない状況であることは理解しておりますが、第1期委員の提言が早期に実現するよう、第2期委員としても期待いたします。

以上